

平成31年度 公立学校教職員定期人事異動の概況

学校人事課

1 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ア 全県的視野に立った広域交流に努める。
- イ 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ウ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- エ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- オ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

(校種別内訳)

(単位：人、%)

校種	職員数	異動者数	異動率	前年度異動率
小学校	5,470	1,477	27.0	25.0
中学校	3,031	793	26.2	27.1
高等学校	3,617	765	21.2	24.1
特別支援学校	1,445	319	22.1	20.2
合計	13,563	3,354	24.7	24.7

ア 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数13,563人中、3,354人が異動し、異動率は24.7%（前年度24.7%）となっている。

イ 退職者数は、小学校が210人、中学校が93人、高等学校が62人、特別支援学校が36人で合計401人である。（前年度は381人）

ウ 管理職への昇任は、校長67人（女性22人）、教頭83人（女性14人）、合計150人（女性36人）である。

【参考】管理職への女性の任用状況等（昇任） ※（ ）は女性の内数（人）

	昇任			現任者	女性比率
	校長	教頭	合計		
小学校	44(16)	42(8)	86(24)	490(100)	20.4%
中学校	15(4)	32(5)	47(9)	259(45)	17.4%
高等学校	5(1)	6(1)	11(2)	159(17)	10.7%
特別支援	3(1)	3(0)	6(1)	48(11)	22.9%
計	67(22)	83(14)	150(36)	956(173)	18.1%

<H30全国>

校長14.8%

教頭19.3%

<H31本県>

校長19.5%

教頭16.9%

エ 事務長への昇任は、課長相当職2人（女性1人）、班長相当職5人（女性2人）である。